

4月28日

「神様なしで生きる高慢」

神様は「あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる」箴言 3:6 と語られます。

誰でも神様を認めるなら、神様の助けと顧みを得ます。被造物である私たちは、神様を認めて拠り頼むとき、回り道ではなく、まっすぐな人生の道を歩むようになります。

人は神様を見上げなければ生きられない存在です。しかし、あまりにも多くの人がその事実を侮り、認めようとはしません。

外に現れる高慢は直すことができますが、現れない高慢は直すのが困難です。それが高慢であることすら分からないからです。社会的な地位や富を人生の目的とする人は、高慢によって内面が崩れる可能性が高くなります。しかし、神様がおられなければ何者でもない存在であるということを痛感した人の内面は健全です。

多くの人が、国家の深刻な問題を語るとき、経済や世論の分裂、道徳性の崩壊などをあげます。しかし、最大の問題は、神様なしでも生きられるという人本主義的な高慢に陥っていることです。いくら繁栄して豊かになっても、神様を遠ざけた個人、社会、国家は最終的に失敗せざるを得ません。

私たちは神様の恵みがなければ、さばきの前で地獄に行くしかない罪人です。人生のすべてが主の恵みであると告白し、いつも神様により頼んで歩みましょう。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ 「主を仰ぎ見つつ」

§ 今年の主題聖句

「信仰の創始者であり完成者であるイエスから、
目を離さないでいなさい。」 ヘブル 12章2節
「彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。」 詩篇 34篇5節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法 人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

4月28日

【報告】

本日のメッセージ 「人生を変える主イエスとの出会い」 聖書 使徒 26:1~23

1. 人生の Before After

① 重く苦しい過去を背負い生きる人生

- ・モーセの過去には殺人と挫折の過去があった
- ・ペテロは主イエスを裏切った
- ・パウロは主を信じる者を迫害した

I テモ 1:13 私は以前には、神を冒とくする者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないでしたことだったので、あわれみを受けました。

② 重荷をおろして、変えられた人生を生きる幸い

マタイ 11:28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。

2. 人生を変える主イエスとの出会い 26:13-15、18

「あなたはどなたですか」 15 節

- ・ヨハ 1:41 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、「私たちはメシア（訳すと、キリスト）に会った」と言った。

* 主イエスに出会えば

- i 目が開かれて
- ii 闇から光に
- iii サタンの支配から神に立ち返らせられる

3. 主イエスから受けた新しい人生の使命 26:16、22-23

- ・ロマ 1:16 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。

※ 本日、礼拝後に洗礼式が持たれます。

※ 来週の主日礼拝では聖餐式をもちます。また礼拝後には BBQ 交わり会をします。申し込みは本日で締め切りますので、参加される方は必ず申し込み表に記名してください。

※ 婦人グループの取り組みとして昨年から始まりました「つながるカフェ」が5月24日にもたれます。人数限定の予約制ですので参加希望される方は申込書に記名し申し込んでください。

再び立ちあがる信仰をもつ

主イエスが私たち要求されることは純粋で真実な心、すなわち幼子のように信頼する信仰です。

神様の心が小さくて、私たちの願いを聞いて下さらないのではありません。風に押されても、揺るがない信仰がないからです。

神様は心の狭い方ではありません。私たちの悩みと葛藤が解決されるかどうかを、はらはらしながら心配される方ではありません。

問題は私たちが病んでいることです。私たちの心が高慢で、神様を信頼できず心変わりし、疑いに満ちているため、神様が働くチャンスがないのです。

信仰は奇跡を呼び起こします。

信仰は神様の前での態度です。

力は人間の信仰からではなく、神様からくるものですが、その力は人間の信仰という通路を通して出てくるのです。

神様が来られて御力を働かせるために、純粋な心をもたなければなりません。切実な心をもたなければなりません。子どものような心をもたなければなりません。

「愛するあなたに」 ハ・ヨンジョ